

2017年7月24日

TOKYO JAZZ WEEKEND ~みんなのジャズ~

STATION JAZZ!

TOKYO JAZZ WEEKEND ~みんなのジャズ~「STATION JAZZ!」開催のお知らせ
2017年9月1日(金)~2日(土)渋谷駅にフレッシュなパワーみなぎるビッグバンドが国内外より集結!

株式会社NHKエンタープライズ
東京地下鉄株式会社

株式会社NHKエンタープライズ(東京都渋谷区 社長:板野裕爾)は、東京地下鉄株式会社(東京都台東区 社長:山村明義)、東京急行電鉄株式会社(東京都渋谷区 社長:野本弘文)の協力、ならびに、公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京の助成のもと、2017年9月1日(金)と9月2日(土)の2日間、東急東京メトロ渋谷駅構内にて TOKYO JAZZ WEEKEND ~みんなのジャズ~「STATION JAZZ!」を開催いたします。

この音楽イベントは、2002年に日本最大級の国際ジャズフェスティバルを目指して発足し今年16回目を迎える「東京JAZZ」が、新たに渋谷で開催されることに伴い、国際交流・市民交流・街の活性化・次世代育成に寄与したいという願いのもと企画いたしました。

未来に向けて変貌を遂げる「渋谷」の街で「老若男女を問わず世代を超えて愛されるジャズを市民の皆さまに広く楽しんで頂きたい」という思いを共にするビッグバンドが、国内外から集いパワフルな演奏を繰り広げます。

世界初のレコーディングから100年を経て、いまや世界の共通言語となったジャズ。第一線のアーティストと未来を担う若手のコラボレーションも交えた国際色ゆたかな演奏に、この機会に是非触れていただければ幸いです。入場は無料です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

「入場無料」

東急・東京メトロ
渋谷駅構内出入口方面

TOKYO JAZZ WEEKEND
~みんなのジャズ~

STATION JAZZ!

9/1 F 17:30 open / 18:00 start
19:30 open / 20:00 start

2 S 11:30 open / 12:00 start
18:30 open / 19:00 start

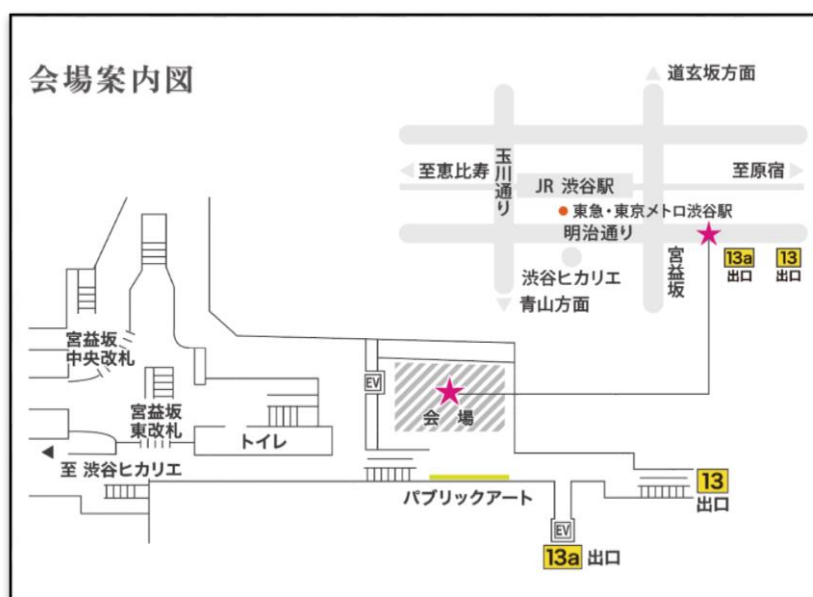
小曾根 真 presents

- JFC All Star Big Band meets The Eastman Jazz Sextet
- The Danish Radio Big Band (デンマークラジオビッグバンド)
- Gentle Forest Jazz Band with
アモーレ&ル Tokyo Lindy Hop Syncopators
- 青山学院大学 Royal Sounds Jazz Orchestra

TOKYO JAZZ WEEKEND ～みんなのジャズ～「STATION JAZZ !」詳細

- 1 名称 TOKYO JAZZ WEEKEND ～みんなのジャズ～「STATION JAZZ !」
- 2 場所 東急東京メトロ渋谷駅 駅構内 13 出口方面（詳細は会場案内図参照）
- 3 入場 無料
- 4 日時/出演
 - (1) 2017 年 9 月 1 日（金）
 - ・ 17:30 開場、18:00 開演
青山学院大学 Royal Sounds Jazz Orchestra（日本）
 - ・ 19:30 開場、20:00 開演
Gentle Forest Jazz Band with アモーレ&ル Tokyo Lindy Hop Syncopators（日本）
 - (2) 2017 年 9 月 2 日（土）
 - ・ 11:30 開場、12:00 開演
The Danish Radio Big Band（デンマークラジオ・ビッグバンド）（デンマーク）
 - ・ 18:30 開場、19:00 開演
小曽根真 presents JFC All Star Big Band meets The Eastman Jazz Sextet（日本、アメリカ）
- 5 主催 株式会社NHKエンタープライズ
- 6 共催 東京JAZZ実行委員会（NHK、NHKエンタープライズ、日本経済新聞社）
- 7 協力 東京地下鉄株式会社、東京急行電鉄株式会社
- 8 助成 公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京
※本事業は東京文化プログラムの助成を受けています
- 9 公式サイト <http://www.tokyojazzweekend.com>
- 10 イベントに関するお問合せ NHKエンタープライズ内
TOKYO JAZZ WEEKEND～みんなのジャズ～事務局 e-mail: tokyojazzweekend@nhk-ep.co.jp

11 場所詳細



東急東京メトロ渋谷駅 駅構内 13 出口方面

●小曾根 真

日本を代表するジャズ・ピアニストとして世界的に活躍。1983 年バークリー音楽大学を首席で卒業後、米 CBS と日本人初のレコード専属契約を結び、全世界デビュー。以来、世界的ジャズミュージシャンや、自身が率いるビッグ・バンド「No Name Horses」とのツアーなど、最先端のジャズシーンで活躍。また、クラシックにも取り組み、国内外の主要オーケストラと共演。2014 年には、ニューヨーク・フィルのアジアツアーに初の日本人ジャズ・ピアニストとして抜擢され、ニューヨークタイムズでも絶賛されるなど、ジャンルを超えて幅広い活動を続けている。

●JFC All Star Big Band meets The Eastman Jazz Sextet (日本・アメリカ)

『ロックをも超える日米学生による JAZZ POWER!!』

小曾根真の発案により音楽大学の一般への認知、そして学生のモチベーションを高める事を目的として立ち上げられたジャズ・フェスティバル「Jazz Festival at Conservatory(JFC)」。

参加校は国立音楽大学、昭和音楽大学、尚美学園大学の3校。そして、フェスティバル参加バンドの中から選ばれし優秀学生によって編成された「JFC All Star Big Band」が、今年タッグを組むのは、ロン・カーターやスティーヴ・ガッド等著名なジャズミュージシャンを輩出する名門校「イーストマン音楽学校」から送り込まれる精鋭メンバー「The Eastman Jazz Sextet」。日米の学生達が繰り広げる熱いコラボレーションが見逃せない！

●The Danish Radio Big Band (デンマークラジオ・ビッグバンド) (デンマーク)

1964 年結成。ヨーロッパ屈指のジャズバンドとして、世界の著名アーティストと多数共演。熟練ミュージシャン 19 人によるエネルギー溢れるパフォーマンスで人々を魅了する彼らの音楽は、クラシックやスイング調のビッグ・バンド・ジャズ、ソフトなバラードや激しい実験的なジャズなど、多種多様である。マイルス・デイビスなどのスター達のアルバム約 80 枚以上に参加して大きな成功を収めてきた一方で、ジャンルを問わずにコラボレーション企画を行い、新人の紹介や若き才能達に作曲を依頼するなど、新しい挑戦に挑み続ける姿勢は今も変わらない。大規模なコンサートの多くを DR Concert Hall で行いながら、デンマークの国内各所でも年間 40 を超える公演を行っている。

●Gentle Forest Jazz Band (日本)

『古い？新しい？これがビッグバンドだ!!』

2005 年に結成されたスウィングジャズバンド。往年のスウィング・スタイルを発展させたオリジナル・スウィングを武器に精力的に活動している。17 人の楽器隊と 3 人の女性ボーカルが織り成すエキサイティングかつ笑いに溢れるライブパフォーマンスは圧巻。隔月で行われているワンマンイベントは毎回ソールドアウトするほどの人気を博している。ジャズフェスティバルへの出演やコメディアンとのコラボレート、映画・CMへの楽曲提供、現在日本でもっとも多忙なビッグバンドといえる。リーダーのジェントル久保田は NHK 総合テレビ『バナナ♪ゼロミュージック』に現在も出演中。

●アモーレ&ルル Tokyo Lindy Hop Syncopators (日本)

『1930 年代のハーレムのグルーヴを東京に!!』

スウィングジャズで踊る「リンディポップ」のダンサー 2 人組。渋谷のライブハウス「サラヴァ東京」で行っている「Swing Jack!」というスウィングイベントは今年で 14 年目に突入。また、ジャズミュージシャンの菊地成孔さんの「HOT HOUSE」のレギュラー出演、野宮真貴さんとのコラボ（パフォーマンス & DJ）、『ムジカ・ピッコリーノ』（NHK）、他のテレビ出演など幅広く活動している。イラストレーターを本業とするアモーレは、アメリカ・ニューヨークのリンカーンセンターで毎年開催されている「Midsummer Night Swing」のデザイナーに今夏起用され、同時に渋谷移転で刷新された「東京 JAZZ」のキービジュアルも担当している。

●青山学院大学 Royal Sounds Jazz Orchestra (日本)

今年で創設 50 周年を迎える学生ビッグバンド。1 年生から 4 年生まで、50 名以上在籍しており、ビッグバンドの代名詞『Count Basie』から音の魔術師『Gil Evans』、『Jaco Pastorius』や『Incognito』まで、ジャンルを問わず様々な楽曲を演奏している。立地からか個性的なメンバーも多く、外部で音楽活動をしたり、モデル活動をしている部員もいる。毎年代が変わるごとに、バンドカラーもごっそり変わることも当バンドの見所である。